

環境活動レポート

平成27年度版



第 6 号

レポートの対象期間：27年5月～28年4月

発行日：28年5月30日

(一部加筆29年6月7日)



認証番号0007098

 株式会社 アライ

環境方針

【基本理念】

株式会社アライは、水道事業を通じ、地球環境問題が21世紀における人類共通の最重要課題のひとつであると認識し、社員一丸となって環境との共生・調和に配慮した事業活動に取り組めます。

【行動指針】

- (1) 環境に関する法令・規制・協定を順守します。
- (2) 廃棄物は分別を行い、リサイクルを推進し、削減に努めます。
- (3) 水資源を大切にし、使用量削減に努めます。
- (4) エコドライブ、節電に努め、二酸化炭素排出量の削減をします。
- (5) グリーン商品の購入・販売を推進します。
- (6) 整理整頓を徹底し、職場の環境美化に努めます。

制定日 平成22年3月5日

改 1 平成27年4月9日

株式会社 アライ

代表取締役 **新井壽昭**

事業概要

事業所及び代表者

株式会社アライ

代表取締役 新井 壽 昭

所在地

静岡県牧之原市細江2930 (本社・事務所・第一倉庫)

連絡先 TEL 0548-22-1626

FAX 0548-22-3892

第二倉庫 牧之原市細江2928-1

環境保全関係の管理責任者

環境管理責任者 新井健司

事業の内容

管・土木・水道施設・消防施設工事業 (許可番号 般-23第17462号)

静岡県産業廃棄物収集運搬業 (許可番号 第02201108252号)

防災・避難用品販売 (卸売業・小売業)

事業の規模

活動規模	単位	25年	26年	27年
工事等の件数	件	16	20	25
売上高	百万円	91	140	136
従業員	人	6	6	6
事務所床面積	m ²	136	136	136
倉庫床面積	m ²	206	206	206
車両台数	台	9	9	9

事業年度

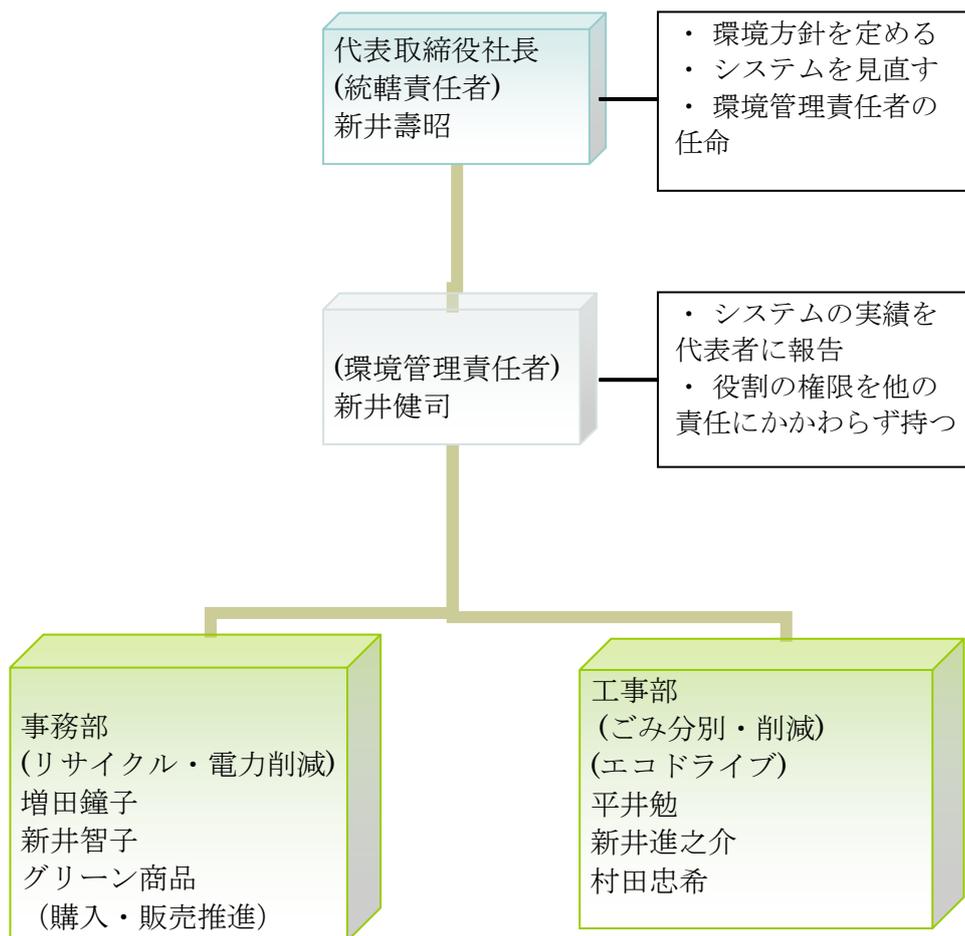
5月1日～翌年4月30日

文5

株式会社 アライ エコアクション組織図及び推進体制 平成27年5月現在

改1 26.4.1

作成者 新井健司



対象の範囲

本社・事務所・倉庫を含めた上記全組織・全活動を対象とする

記1

環境への負荷状況

環境への負荷		単位	24年	25年	26年	27年	
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素(H21中電:※)	kg-CO ₂	24678	29722	23350	23282	
	(事務所)	kg-CO ₂			18501	18974	
	(現場)	kg-CO ₂			4848	4308	
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	再資源化量	t	0.06	0.08	0.05	0.05
		(中間処理)	t	0.018	0.018	0.018	0.018
		最終処分量	t	0	0	0	0
		小計	t	0.078	0.098	0.068	0.068
	産業廃棄物	再資源化率	%	76.90%	81.60%	73.50%	73.50%
		再資源化量	t	76.4	55.2	27.1	176.5
		(中間処理)	t	0	0	3.38	3.39
		最終処分量	t	21.3	11.5	17.9	15
		小計	t	97.7	66.7	48.4	194.9
		再資源化率	%	78.2%	82.8%	56.0%	90.6%
廃棄物排出量の合計		t	97.778	66.778	48.448	194.968	
③-1 総排水量	公共用水域	m ³	212	204	200	210	
	下水道	m ³					
③-2 水使用量	上水	m ³	212	204	200	210	
	工業用水	m ³					
	地下水	m ³					
④ 化学物質使用量		kg					
		kg					
		kg					
⑤ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	66,096	66,948	64,780	59,550	
	建設現場等の購入電力	MJ					
	化石燃料	MJ	307,979	382,220	294,328	299,419	
	新エネルギー	MJ					
	その他	MJ					
⑥ 資源等使用量	資源使用量	t	4.82	3.10	6.97	7.28	
	循環資源使用量	t					
⑦ 総製品生産量または 総商品販売量	工事件数	件	10	16	20	25	
	環境負荷低減に資する工事	件					

作成日:28年5月30日

作成者:新井健司

環境活動計画 平成27年度 (27.5~28.4)

方針

- 1) 法令の遵守
 - ・ 一覧表に取りまとめた法令等を守る
- 2) 再資源化率推進 対象：全員 (再資源化の徹底)
 - ・ リサイクル可能な資源の分別をする (現場に於いても徹底する)
 - ・ 紙(段ボール・カタログ類・使用済みコピー用紙)は分別しリサイクル業者へ引き渡す
 - ・ 使用済みコピー用紙の両面使用を徹底する
 - ・ 使用済みコピー用紙をメモ紙化する
- 3) 水道使用量の削減 対象：全員
 - ・ 漏水点検を実施する
 - ・ 節水の推進を行う
- 4) 二酸化炭素(燃料・電気)の低減
 - ①使用燃料の削減 対象：全員
 - ・ エコドライブを実施する(アイドリングストップ、急発進・急ブレーキの抑制)
 - ・ エアコン使用を控えめにする
 - ・ 断熱窓の設置を拡大する
 - ・ 暖房器具の使用温度を20℃以下に設定する
 - ②電気使用量の削減 対象：事務職
 - ・ エアコンの使用温度を下げすぎない(夏28℃)
 - ・ 冷暖房機器使用時サーキュレーターを使用する
 - ・ 照明器具のLED化を行う
 - ・ OA機器の不使用时の電源OFFを行う
 - ・ スイッチ式タップを使用し待機電力の低減を図る
 - ・ 照明機器の自動点灯化を実施する
- 5) 環境への配慮 対象：工事担当者
 - ①グリーン購入
 - ・ グリーン商品(便器・水栓)の調査、選定し施工する
 - ・ グリーン購入率を把握する
 - ・ エコキャップ運動を実施する
 - ②グリーン商品(便器・水栓)販売の推進
 - ・ グリーン商品を積極的に採用し奨励する
 - ・ グリーン商品の提案を行う
- 6) 5Sの徹底
 - ・ 整理整頓を徹底し安全で効率的な職場をつくる

作成日:27年5月10日

作成者:新井健司

取組状況



常夜灯LED化



照明LED化



使用済みコピー用紙使用



水道水の節水対策



エコ商品導入 (OA機器)

作成日:28年5月30日

作成者:新井健司

環境活動の取組結果

項目	単位	基準 26年度(前年) A	実績 27年5月~28年4月 B	目標 (数値) C	達成率	評価	次年度 目標予定
CO2排出量	Kg-CO2	23350	23282	23233	100%	○	23282
購入電力	KWh	6590	6058	6557	108%	○	6058
ガソリン使用量	l	4267	3886	4246	109%	○	3886
軽油使用量	l	3891	4375	3872	89%	×	3872
水使用量	m3	200	210	199	95%	×	199
再資源化量	%	56	90	60	150%	○	90
グリーン化件数	件	16	20	20	100%	○	20

※ 達成率=目標(C)÷実績(B)×100 ただし再資源化量、グリーン化件数は実績(B)÷目標(C)×100

※ 評価基準 ○:達成率100%以上

※ 購入電力のCO2排出係数は0.486kg-CO2/kwhを使用(H27年中電)

※ 次年度目標予定は評価:○は27年度実績値、評価:×は27年度目標値を継続する

取組み結果の評価

- 1) 法令順守 (方針1)
 - ・社員全員で取組ことができた。
- 2) 再資源化率の促進 (方針2)
 - ・受注工事内容の関係で再資源化出来るAs・Co塊の排出が今年度特に多く再資源化率が大きく向上した
- 3) 水道使用量の削減 (方針3)
 - ・水栓の節水対策の継続及び夏季の散水量抑制により効果が表れたがわずかに未達成だった
- 4) 二酸化炭素(燃料・電気)の低減 (方針4)
 - ①使用燃料の削減
 - ・土木関係工事が多く重機の稼働が高かった為軽油使用量が目標を達成できなかった。エコ運転等については意識して活動したと評価できる
 - ② 電気使用量の削減
 - ・削減の要因としては継続実地している。エアコンの設定温度の28度(夏場)及びサーキュレーターの併用使用は効果があったと思われる。
 - ・LED化の継続及び省エネ機器の導入効果と思う
- 5) 環境への配慮 (方針5)
 - ・グリーン商品販売促進の継続及びOA機器その他事務用品エコ商品導入が目標達成につながった。
- 6) 職場環境の整備 (方針6)
 - ・5Sの徹底を継続した

環境活動目標計画実施表 (27年度)

環境目標	活動計画	実施スケジュール												達成手段	実施担当者		
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月				
27年																	
使用燃料(ガソリン)-0.5%	エコドライブの実施	←													→	ルールの設定	全員
	使用燃料(軽油)-0.5%	近距離自転車移動の推進	←												→	教育	新井
																結果報告	全員
実施状況	評価基準	上記手段計画通りの実施															
	実施結果	ガソリン-9%						軽油+11%									
	評価	× (CO2排出量としては○)															
電気使用量の削減 -0.5%	エアコン温度28度設定		←												→	ルールの設定	新井
	照明のこまめな消灯	←													→	教育	新井
	OA機器の不使用时電源OFF	←													→	結果報告	全員
実施状況	評価基準	上記手段計画通りの実施															
	実施結果	電気使用量-8%															
	評価	○															
水道使用量の削減 -0.5%	漏水点検の実施	↔													↔	ルールの設定	新井
	節水の推進	←													→	教育	新井
																結果報告	全員
実施状況	評価基準	上記手段計画通りの実施															
	実施結果	水道使用量+5%															
	評価	×															
再資源化率	使用済みコピー用紙及び両面使用の徹底	←													→	ルールの設定	新井
	0.5% 分別の実施	←													→	教育	新井
																結果報告	全員
実施状況	評価基準	上記手段計画通りの実施															
	実施結果	事務所現状維持 リサイクル率73.5%						建設現場-61% リサイクル率90.6%									
	評価	○															
グリーン化率	便器のグリーン商品購入・販売	←													→	ルールの設定	新井
	水栓のグリーン商品購入・販売	←													→	教育	新井
	OA・事務用品グリーン化	←													→	結果報告	全員
実施状況	評価基準	上記手段計画通りの実施															
	実施結果	商品購入販売昨年同様						エコOA・事務用品購入									
	評価	○															

計画日:27年5月10日
 実績日:28年5月30日
 作成者:新井健司

作成日:28年5月30日
作成者:新井健司

28年度以降の取組内容 (次年度の取組内容)

- 1) 法令順守
 - ・従業員全員の意識の徹底
- 2) 再資源化率推進
 - ・リサイクル可能な資源の分別徹底
 - ・再生紙使用の継続
- 3) 水道使用量の削減 (27年度未達成)
 - ・一人一人の節水に対する意識の向上継続
 - ・雨水の使用の検討
- 4) 二酸化炭素(燃料・電気)の低減
 - ・エコドライブの継続
 - ・車種ごとの使用燃料の把握 (27年度軽油使用量未達成)
 - ・照明のLED化計画の継続
 - ・省エネ機器の導入
- 5) 環境への配慮
 - ・グリーン商品のリスト作成
 - ・グリーン商品を積極的に採用
 - ・事務用品グリーン化推進
- 6) 環境への配慮
 - ・5S徹底の継続

環境関連法規への違反 ・ 訴訟の有無

① 社に適用となる環境関連法規の遵守状況

一覧制定日 : 22年4月01日
改訂2 : 27年5月10日

制定者 : 新井健司
確認者 : 新井健司

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	厳守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の収集運搬及び処分業者との委託契約	契約(書)の締結	○
	マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	シートを被せる	○
	マニフェストの管理	A・B2・D・Eの管理 A票の保管及びD,E票の返却確認	○
	マニフェストの保管	5年間	○
	管理票交付状況の報告	前年度分を6/30までに報告予定	○
産廃の適正な処理に関する条例	委託事業者の現地確認	年1回確認を行う	○
騒音・振動規制法	建設作業における規制	必要時の届け出と管理	○
建設リサイクル法	分別解体、再資源化	再資源化の実施	○
浄化槽法	浄化槽使用開始届け	事業所移転時	○
	保守点検の実施	3ヶ月に一度	○
資源有効利用促進法	法に基づく適正処理	パソコン等廃棄時	○
家電リサイクル法	法に基づく適正処理	指定家電品の業者依頼	○
自動車リサイクル法	法に基づく適正処理	適正な業者引き渡し	○
フロン排出抑制法	法に基づく適正点検	特定製品の点検	—

② 違反・訴訟等

自社の違反はありませんでした。
関係機関からの指摘、利害関係者からの指摘等は過去3年間ありませんでした。

確認日 : 28年5月10日

確認者 : 新井健司

代表者による評価と見直し結果

記入者氏名	新井健司
作成年月日	平成28年5月30日

見直し 関連情報	項目		確認	(必要に応じ評価・コメントを記載)
	1	エコアクション21 8文書・8記録	○	問題なし 今後も作成者、作成日を確認する
	2	環境目標及び目標達成状況	○	水使用量と軽油使用量が未達成であった 電力、ガソリン使用量が達成出来CO2排出量は達成した
	3	環境活動計画及び取組実施状況	○	問題なく実施出来た
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	○	遵守出来た(今後も全員が遵守する)
	5	外部コミュニケーション・対応記録	○	苦情・要望は無かった
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	○	今後確実に運用する
	7	取引先、業界、関係行政機関、 その他の外部機関	○	情報交換できた
	8	その他	○	特になし
代表者による 全体の評価と見直しの指示	全体の評価・コメント		<p>エコアクションの取り組みも7年が経過し、それぞれの項目に対し、目に見えての効果(削減)が出にくくなってきています。次年度以降削減から現状維持という方向で活動していく中で、それぞれの項目に対して、細かく分析していきます。また、省エネ車両や機械更新・導入も検討していきます。次年度以降も社員一同一丸となって、エコアクション21を継続し経営に貢献させ地球環境の保全に貢献出来る企業を目指していきます。27年度未達成項目の「水道使用量」「軽油使用量」については特に注視していきます。</p>	
	見直し項目		変更の 必要性	変更「有」の場合の指示事項等
	1	環境方針	有(無)	
	2	環境目標・計画	(有)無	目標値について前年維持を前提に見直す
	3	環境活動計画・取組項目	有(無)	
	4	環境に関する組織	有(無)	
	5	その他のシステムの要素	有(無)	
	6	その他(外部への対応等)	有(無)	

平成28年5月30日実施
代表取締役

株式会社 アライ

新井壽昭